

芦浦観音寺

歴代肖像画展

保存修復専攻の学び

2023

1/17 [火]

1/29 [日]

9:00-17:00

休館日：月曜日

期間中ギャラリートークあり

1/20 [金] 12:15~45

「芦浦観音寺・肖像画について」

芦浦観音寺・松井海音子氏 (旧姓西川)

1/27 [金] 12:15~45

「10年間の肖像画修理のストーリー」

保存修復専攻講師・鈴木裕氏 / 保存修復専攻教員・宇野茂男氏

京都市立芸術大学
芸術資料館展示室

入館料：無料

主催：京都市立芸術大学保存修復、博物館実習受講生
協力：芦浦観音寺

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

NEW
CAMPUS 2023
京都芸大は移転いたします

文化庁
京都へ

約 10 年にわたる
芦浦観音寺歴代肖像画の修理終了を記念して、
この冬、全 18 点を展示します

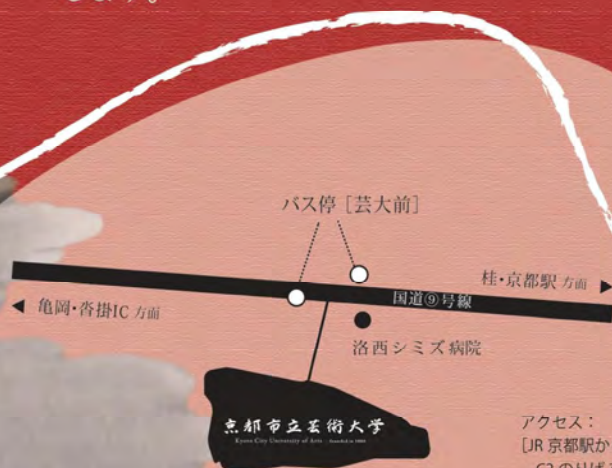


天台宗大慈山観音寺、通称「芦浦観音寺」は、寺伝では聖徳太子の開基、秦河勝の創建と伝わる寺院です。草津市芦浦町に位置し、南を走る志那街道を介して東は中山道の宿駅である守山宿、西は草津三港の一つ志那港に通じる、湖南東部における水陸両交通の要衝に立地します。本尊は十一面観世音菩薩で秘仏。『大安寺三綱記』によれば、奈良時代には南都六宗の一つとして栄えた三論宗の寺院でありました。

京都市立芸術大学保存修復専攻は、演習授業としておよそ 10 年に渡って芦浦観音寺歴代住職肖像画を修理して来ました。

保存修復を行う際の調査研究では、色材の分析を行い肖像画が描かれた時代に実際に使われていた色材の特定などを行うことや、修理を行う過程で分かった絵画技法、裏彩色の存在などを知ることにより作品への理解を深めることが出来ました。その成果もあわせて発表します。

本展覧会ではこの修理終了を記念して、芦浦観音寺歴代肖像画全 18 点、並びに修理前の作品で使用されていた旧軸棒や裂地も併せて展示するなど、修理完成作品だけでなく、多方面から文化財への理解と学びを展示します。



京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

〒610-1197

京都府京都市西京区大枝沓掛町 13-6 芸術資料館展示室
芸術資料館問い合わせ先：075-334-2232

アクセス：

[JR 京都駅から]

C2 のりば 京阪京都交通バス 2・14・28 系統
「芸大前」(約 45 分) バス停から徒歩ですぐ。

[阪急桂駅から]

京阪京都交通バス 1・2・13・14・25・28 系統
「芸大前」(約 20 分) バス停から徒歩ですぐ。

[JR 桂川駅・阪急洛西口から]

京阪京都交通バス 11A 系統 (京都成章高校前行き)
「芸大前」(約 15 分) バス停から徒歩ですぐ。



Twitter

@akz_portrait
https://twitter.com/akz_portrait

公式サイト

<https://infoportraitexhibi.wixsite.com/ashiurakannonji2022>

